令和2年度静岡県高等学校バスケットボール新人大会

女子決勝

試合日	2021年2月23日
会　場	浜松開誠館高校
コート	X コート
開始時間	10:00

TEAM A						TEAM B
常葉大常葉（中部）	75	18	－	13	77	浜松開誠館（西部）
		23	－	20		
		16	－	20		
		18	－	24		
			OT			

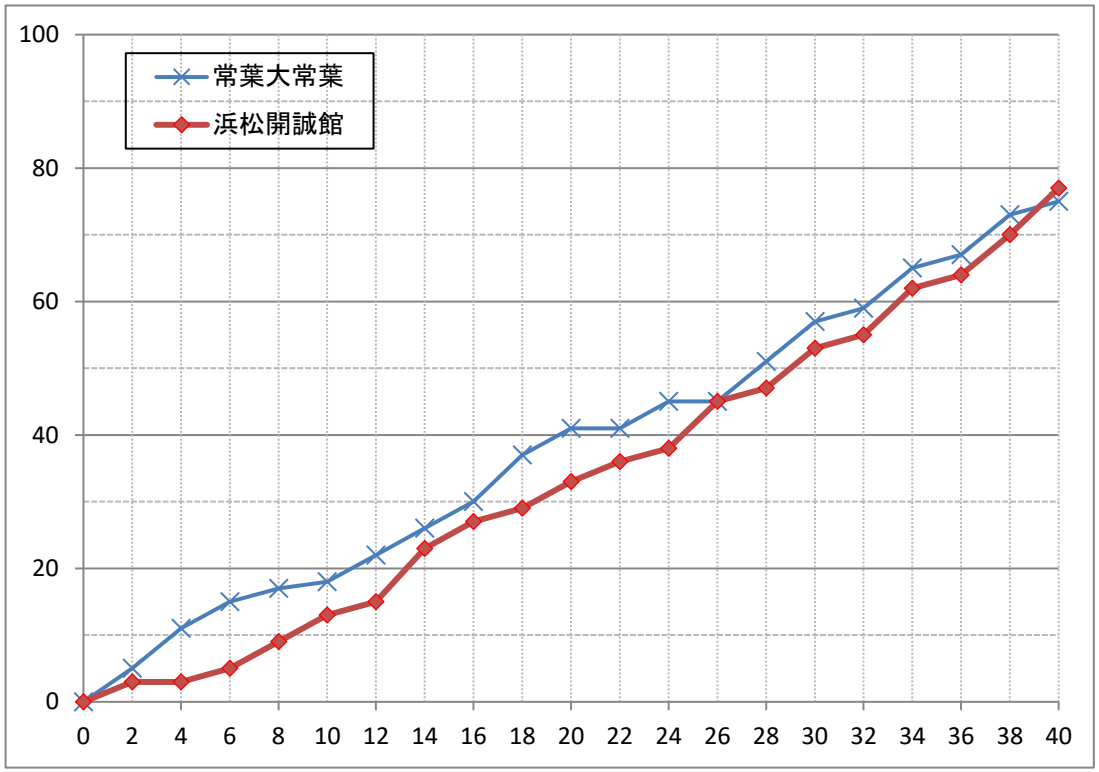
TEAM A　常葉大常葉　（中部）

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	＊	伊藤愛莉	14	0	6	2	0
5	＊	植田希歩	23	0	7	9	3
6	＊	市川凜香	17	1	7	0	3
7	＊	太田結優	9	0	4	1	5
8		佐野玲奈	2	0	1	0	2
9	DNP	成瀬こころ	0	0	0	0	0
10	DNP	川崎世羅	0	0	0	0	0
11	DNP	山口紀実	0	0	0	0	0
12	DNP	山本和葉	0	0	0	0	0
13	＊	三瀬未来	10	0	4	2	4
14	DNP	大村菜摘	0	0	0	0	0
15	DNP	鈴木爽	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			75	1	29	14	17

TEAM B　浜松開誠館　（西部）

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		岩永美空	5	1	1	0	3
5	＊	西田妃那	13	0	5	3	2
6	DNP	平井朋美	0	0	0	0	0
7	DNP	山下來郁	0	0	0	0	0
8	DNP	松井璃々	0	0	0	0	0
9	DNP	水谷光里	0	0	0	0	0
10	＊	萩原加奈	27	1	8	8	2
11	＊	前田理咲子	15	1	6	0	3
12	＊	安田百亜	7	0	2	3	2
13		小谷梨緒	8	0	4	0	1
14	DNP	内山弥美	0	0	0	0	0
15	DNP	斎藤亜子	0	0	0	0	0
16	＊	今井杏	2	0	1	0	1
17	DNP	小幡夕夏	0	0	0	0	0
18	DNP	中山未悠	0	0	0	0	0
19	DNP	滝川美里香	0	0	0	0	0
20	DNP	大橋茜	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			77	3	27	14	14

【 得点経過 】



【 戦　評 】

1Q　両チームともマンツーマンディフェンスで試合スタート。浜松開誠館#12安田がファールをもらい、フリースローで先制する。すかさず常葉大常葉も#13三瀬がレイアップを決める。常葉大常葉#6市川が3P、#5植田がジャンプシュート、ゴール下で連続得点し、点差を広げる。両チームとも緊張からかシュートやパスミスが続き、残り4分、15対5で浜松開誠館がタイムアウト。その後、常葉大常葉の得点が止まり、浜松開誠館#11前田の連続得点で差を詰める。点差を縮めるが、18対13常葉大常葉のリードで1Q終了。
2Q　浜松開誠館のディフェンの堅さが増し、常葉大常葉が攻めあぐねる。その間に浜松開誠館#13小谷が3P、レイアップで連続得点し追い上げる。しかし、常葉大常葉#4伊藤がジャンプシュート、フリースローを決め、流れを渡さない。残り4分、30対25で常葉大常葉がタイムアウト。その後、ディフェンスのプレッシャーを強め、浜松開誠館の得点を抑え込む。浜松開誠館は#10萩原のレイアップ、#4岩永のジャンプシュートで追いかけるものの、41対33常葉大常葉のリードで前半終了。
3Q　後半も互いにマンツーマンディフェンスでスタート。開始早々、浜松開誠館#10萩原が3Pを決める。常葉大常葉は1対1からシュートを放つも決めきれず、苦しい時間が続く。浜松開誠館は#4岩永の3P、#13小谷、#11前田の連続得点で、残り3分、45対47と逆転する。その後も浜松開誠館はインサイドにボールを集め、1対1を仕掛けるも、常葉大常葉は堅守を続けて流れを渡さない。リバウンドやルーズボールの素早い保持から、#13三瀬、#5植田が速攻を連続で決め、再度点差を広げる。57対53常葉大常葉のリードで3Q終了。
4Q　浜松開誠館はインサイドにボールを集めるも、1対1からのシュートが決めきれない。常葉大常葉は#4伊藤、#6市川のジャンプシュートで得点する。一方浜松開誠館は#5西田がオフェンスリバウンドからのバスケットカウント、#11前田がゴール下のシュートを決め、一進一退の攻防が続く。常葉大常葉は残り3分でタイムアウト。しかし点差は変わらず、残り2分20秒で浜松開誠館がタイムアウト。その後、常葉大常葉の#6市川がジャンプシュートを決めるが、浜松開誠館#10萩原が1対1からの連続得点で3点差まで詰め寄る。すかさず常葉大常葉が残り1分でタイムアウト。フロントコートからゲームを再開するもターンオーバーをし、浜松開誠館#10萩原がファウルをもらい、フリースローを2本決め、1点差となる。常葉大常葉はジャンプシュートを放つも決められない。浜松開誠館は#10萩原が1対1を仕掛け、#12安田がリバウンドを取りファールをもらう。フリースローを1本決め75対75の同点となる。残り8秒で常葉大常葉がタイムアウト。フロントコートからゲームを始めるもペイントエリア内でボールを取られ、浜松開誠館#12安田が速攻のレイアップを決めてタイムアップ。75対77で浜松開誠館が優勝を決めた。

戦評（文責）	井出　悠斗（静岡市立高校）	記入者	立浪雄樹（静岡市立高校）